

保存版

ニュータウンの初詣

私たちのまちで手を合わせよう



千里ニュータウンは、意図的に宗教色を出さずに作られたまちです。でも、まちびらきから半世紀以上経った今では、私たちのそばに「心のよりどころ」としてお地蔵さんや神社があります。1年の初め、私たちのまちでお参りしませんか? それらの由来なども探りました。

なぜ千里NTには神社やお寺が作られなかったの?

千里ニュータウン(以下、千里NT)を開発したのは大阪企業局。公共事業のため「政教分離」の必要があり、墓地も含め宗教施設が作られることはありませんでした。元々あった古江稲荷神社などの例外はありました。

しかし、千里NTに移り住んだ人々の中から、次第に初詣や祭りなど、暮らしの中に「宗教」的な場所を求める声が高まります。そこで府や地域などと協議を重ね、たとえば他の場所で出土した地蔵を祠を作っておさめたり、新しく神社を建てたりしたのです。

千里NTの中心地にありながら、開発前から村があったために「除外地」となった上新田には、「天神社」や「真覚寺」などがあります。それらは今、ニュータウン住民のみならず、地域の新住民にとっても、大切な心のよりどころになっています。



上新田天神社(上新田1)

真覚寺(上新田2)

1 延命地蔵尊
 (豊中市新千里北町3)

府営住宅の建設中に住民が荒地から発見し、祀った。平成2年、現在の場所で祠が建替えられた。地蔵が「真北」を向いていることから、延命や病氣平癒に霊験あらたかといわれる。ひっそりとした場所に建つが、霊験を求めて参拝する人たちが絶えない。

◀小高い丘と団地に挟まれた集会所の裏で目立たないが、逆にそれが風情になっている。

府営住宅
集会所の裏

2 木の又地蔵尊
 (吹田市古江台2)

はぎのき公園内、青谷(あおだん)池のほとりにある。由来は不明だが、かつては大木の根元を祠代わりに安置されていたのかも。昔、池は今の3倍程の広さがあり、水は飲めるほど青かったという。夕立ちを龍が昇ったと伝わる龍神伝説もあり、とにかく興味深いスポット。

祠の上に、さつげにあずまやまで建ち、とても大切にされているのがわかる。

はぎのき
公園のなか

3 古江稲荷神社
 (吹田市古江台2)

はぎのき公園の辺りには、千里NT開発前唯一の集落(明治初年に大阪の飴屋が地主となり開墾)があった。入植者が5~6軒あり、氏神として祀ったのがこの神社。周囲には、カナメモチ、コウヤボウキ、マンリョウなど里山の風景が残され、四季折々の自然観察も楽しめる。

はぎのき
公園のなか

10 千里神社の鳥居
 (豊中市上新田1)

「千里神社」は昭和43年、かつて新千里西町近隣センターにあった新千里西町マーケットの屋上に、府企業局の承認を得て建てられた。桜塚元町の原田神社の祭神が祀られていたが、マンションの建設で撤去。現在はその鳥居が、上新田天神社御旅所に移設されている。

全国初の団地神社と呼ばれる千里神社の鳥居が、上新田天神社御旅所に

上新田天神社
の御旅所



4 九十九交通安全地蔵
 (吹田市津雲台3)

昭和42年、老人クラブと交通安全会により、地域の信仰母体として祀られた。「九十九(つくも)」は旧小字名。地蔵は、大阪市が築港地区の区画整理を行った際、当時の天保山運河から発掘されたもの。「正徳四年」とあり、今から300年程前のものと推測される。

津雲公園
のなか

9 宝生地蔵尊
 (豊中市新千里南町3)

約220年前(天保年間)に、上新田の人が四国八十八ヶ所巡りで授かった地蔵。長年、庭に安置していたが、昭和33年、住民の願いで今の千里南町2丁目に移し、真覚寺和尚が名付けて開眼。その後、千里NTの開発で移転を重ねて現在の地に。千里NT最古の地蔵尊とも。

子どもの無事育成、交通安全地域発
展などを願う。由来もそばに

府営住宅
南集会所そば

5 ぴんころ地蔵
 (吹田市津雲台1)

公園内を散歩する人たちから「ぴんころさん」「ほていさん」などと親しまれている。名前の由来は「ピンピン元気なまま、コロリとあの世へ行けるように」。平成30年の台風で祠は壊れたが、地蔵はピン!として無事だった。ピリケンさんみたいな満面の笑顔に癒される。

古いトイレの裏手にある。でも、ここから池の眺望は最高!

千里南公園
牛ヶ首池北

8 竹見地蔵尊
 (吹田市竹見台3)

千里NT造成工事中に出土し、まちの一番高い所に祀られた。江戸時代中期~末期のものと考えられ、「地獄道」に落ちた人々を救済するといわれる。千里NTの造成がもったのんびりだったら、他にもこんな遺物が発見されていたかも。団地の建て替え時が発掘のチャンス!

ニュータウンらしく、参道がコンクリートブロック製なのもユニーク

公園のなか

7 団地の地蔵の跡
 (吹田市高野台1)

信仰の対象を求める府営住宅の女性が、石切さんで石仏をあつらえ、敷地内に祀ったものという。地域に子どもが多かった頃、地蔵盆は大変にぎわったそう。しかし今では、団地の建て替えを控えて地蔵は撤去され、土台を残すのみ。建て替え完了後、再び祀られるのか気になる。

写真=岡本昭子さん提供、2012年12月撮影

府営住宅
B22棟の前

6 子育て地蔵
 (吹田市津雲台1)

スーパーサンキョーの南側。繁華街にあるためか、「千里NTのお地蔵さん」と言えばここを思い浮かべる人も多い。すぐ北側にある済生会千里病院から、妊婦さんも手を合わせに来る。ここが「南センター専門店街」だった頃は、噴水のそばに祀られていた。

年代が違ふと思われ、3体のお地蔵さんがかわいらしく並ぶ

南千里
トナリエ

こぼれ話 1

朝日新聞販売所・ASA北千里を挟むように、2本の大きなクスノキが生えている。茂って建物に覆いかぶさるので枝打ちをしないと、以前はそのたびに「良くないこと」が起こっていた。それ以来、木を触る前には上新田天神社にお祈りを受けるなどしている。クスノキの又に建つASA北千里を、木の又地蔵尊がじっと見つめている。

木の又ASA??

こぼれ話 2

「ぴんころ地蔵」が立つ所には以前、別の小さな祠があった。昔、牛ヶ首池の水が農業などに盛んに利用されていた頃、龍神を祀って雨乞いをしたという説がある。今は「健康長寿」を願う地蔵に。時代が変われば信仰も変わるようで面白い。

「水」から「健康長寿」へ

今回掲載したほかにもあれば教えてください
aclub@0843.co.jp

子育て地蔵

このページは岡野が担当しました。